

バグダッド 日誌 (5月3日)

○日本そば最高!

コアリション・オフィス(各国先任連絡官部の事務所)や日本隊コンテナは活気に溢れ、通常は元気一杯の雰囲気だ漂っている。しかしながら、我々も生身の人間であるので常にハイ・テンションを維持することはできない。特別にどうだということもないのだが、なんとなく日本コンテナの雰囲気に停滞が感じられた。

先日、日本コンテナ内の整理をしていたとき「日本そば、そうめん」が大量にストックしてあることに気づき、景気づけに[]と[]が夕食に日本そばを作った。

倉庫から大きな鍋・電子調理器を出してきて、そばつゆ・わさび・海苔、更には「わけぎ」までどこからか探し出してきて着々と準備している。食堂から氷を調達してきて準備完了、皆で日本そばを楽しんだ。気温40℃を超える日が続いており、冷たい日本そばは喉ごし最高! 味も最高! 皆食べるは、食べるは…。結局全員で20束のそばを一気に消費してしまい、日本コンテナの雰囲気は一気にハイ・テンションになった。

[]の機転の利いた準備のお陰で停滞ムードを一気に解消することができた。日本そばにあやかり、「細く、長く」良い仕事ができるように努力したい。()

○班長の食中毒

班長のデリケートな胃腸は慣れないものを食すと過剰反応するらしい。「胃腸の弱っている班長のためにうどんでも作りますか? そば? それともそーめん? 」と[]を誘惑。

収納上手な女房役を目指す私にとって、狭いコンテナの有効活用のため過去数回にわたり大掃除や整理整頓を強行、過去の派遣隊員が残した大量の送り物品の数々が何処に収納されてあるのか常に把握している。賞味期限ももちろん把握、期限が切れていても貧乏性の小姑にとってなかなか捨てられないものである。

育ちの上品な[]を説得し、1年以上前に賞味期限の切れたそばの束を搬出、処分。

考えれば5次班員が家族から米や蕎麦など送ってきてもらった記憶はない。そば、生わさび、きざみ海苔、わけぎ、そばつゆ…「美味しく食するための保証期限」は多少切れているものの大勢に影響はないと判断。

みんな美味しいと言って食べてくれた。後は本日 夕以降、班長の胃腸が過剰反応しないことを願わんばかりです。()



バスラLO日々業務報告(5月3日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [] [] (警戒態勢): 「 [] 」
2 特記事項	(1) [] (2) []
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集: [] (3) 定例会議への出席: 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 空路輸送等調整、訪問者送迎対応
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 空路輸送等調整 (4) CME会議参加
5 その他(備考)	